

令和元年度 第19回「きらりと光る北の建築」作品展出品ご協力のお願い

私たちは、建築設計事務所の集まりである一般社団法人 北海道建築士事務所協会札幌支部の会員です。

私たちは、建築主の皆様に対し、設計と監理の業務を通じてその期待に応えるとともに社会の信頼と理解を得るべく、又、建築や環境が文化の形成に占める重要な意味を認識して、其々の職能を通じて社会の進歩と発展に寄与することが出来るよう、微力ながら日々研鑽を積んでまいりました。

私たちは、協会活動の一環として、すでに竣工済みで町にたたずむ優れた建築作品「きらりと光る北の建築」を、過去18回に渡り、いわば勝手に探し出し、その作品と設計者を展示会、広報、メディアを通じて市民の皆様にご紹介させていただきました。

おかげをもちまして、その間、建築主の皆様、設計者その他多くの関係機関のご賛同ご協力を賜ることが出来、さらに札幌市の後援のもと作品展では多くの市民の皆様にご紹介させて頂くことが出来ました。これまで多くの設計者を表彰者してまいりましたが、この作品展での受賞を契機に活躍の場を拡げている設計者も増えてきました。

さて、令和元年度の第19回「きらりと光る北の建築」作品展は、11月8日（金）～10日（日）の3日間、地下街オーロラスクエアにおいて開催する予定ですが、この度、貴建物が我がデザイン発掘隊員により標記作品として推薦されました。

ここに、作品展出品作品として建築主様のご承諾を賜りたくお願い申し上げる次第です。

<作品展示要領>

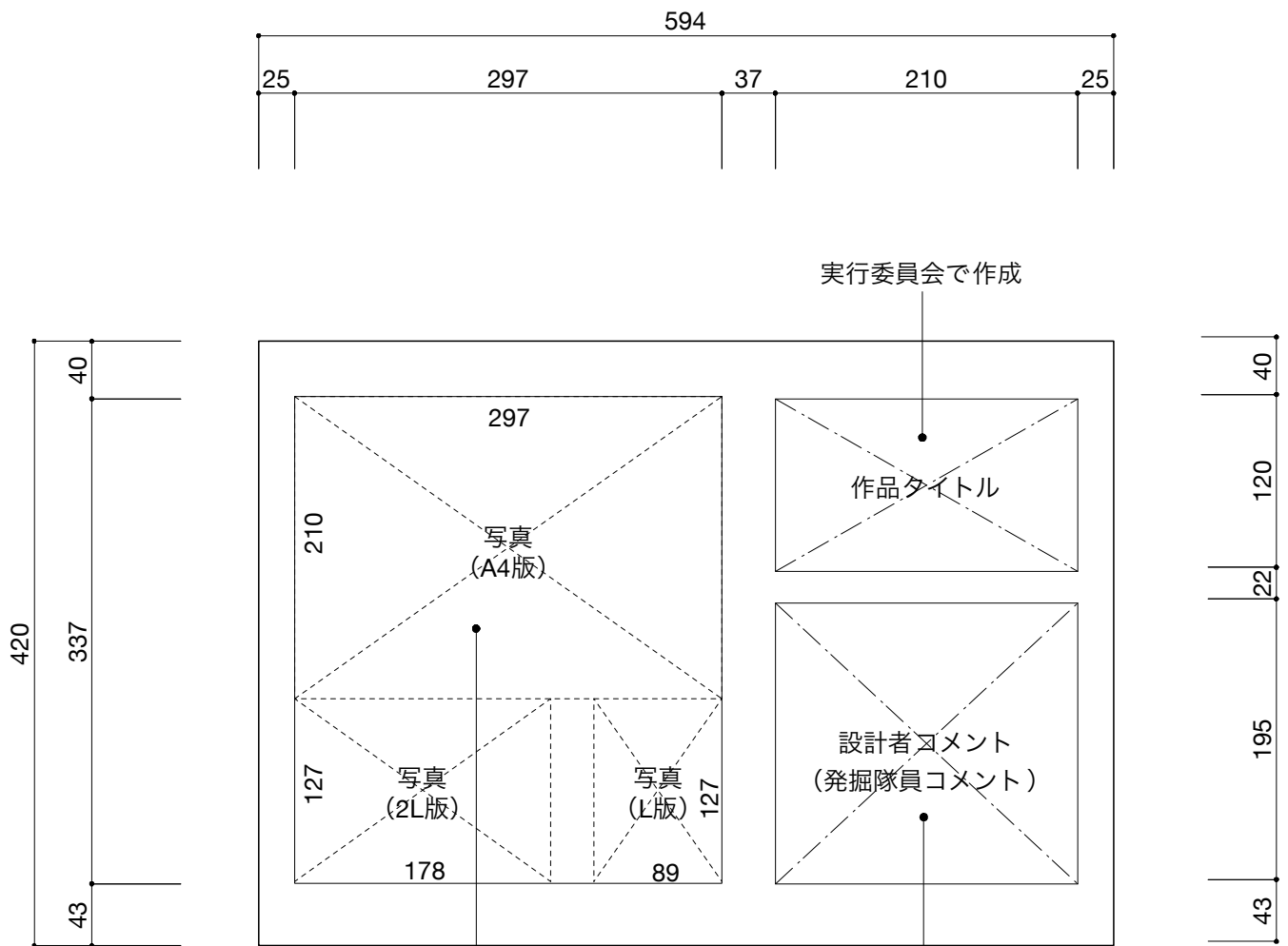
1. 作品写真： 外観、内観（A4版、2L版、L版）各1枚ずつを標準とします。
写真スペース内でのレイアウトは自由です。
2. 作品名： 商業建築： 商号等は建築主様との打合せにより表記します。
住宅建築： 基本的にイニシャル表記とします。（例：A氏邸）
3. 住所： 商業建築： 建築主様の許可により表示します。
住宅建築： 中央区など大まかな表記のみとします。
4. 設計者： 事務所名、個人名まで表記します。
5. その他： 作品に関するコメントを表記します。（設計者、企画担当者）
6. 作品レイアウト： 別紙の標準レイアウトを参照して下さい。

以上、突然のお願いで誠に失礼とは存じますが、なにとぞ私たちの企画にご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

一般社団法人 北海道建築士事務所協会 札幌支部

支 部 長 柳 舘 直 人
企画実行委員長 鈴木 利 治

札幌市中央区大通西5丁目大五ビル
TEL 011-232-2424
FAX 011-232-2428



(写真基本レイアウト)
 このレイアウトを基本として、
 写真スペース (297×337) 内で
 自由にレイアウト可

フォント：メイリオ又は丸ゴシック
 文字サイズ：14
 簡単な概念図程度は認める